

市民文芸

短歌

阿南市文化祭秋季短歌大会選

入選

吉田 文恵

散り散りに蛙飛び出す長靴のあゆむ一步に刈り藁かほる

入選

京寛 幸美

幼少に母を亡くした淋しさは六十年経て優しさになる

入選

程野 茂

去年今年つづけてハミを退治せし「ヒロ」は負傷を舐めて癒せり

入選

小畑 定弘

お隣の老いも娘に引き取られ芙蓉の花が垣根に覗く

入選

西田 修身

きいちごが熟れて迎える故郷よあの娘の声が聞こえるような

入選

佐坂 恵子

九十の父より胡瓜の宅急便 手書きの漬物レシピア添えあり

入選

中山 芳子

老いてやや薄毛となりしを美容師は触れずほめくる吾の福耳

入選

森岡 圭子

曇りたる花屋の奥のショーケースはルソーの森へいざなう扉

入選

浅海 弥生

山里の友のかはりに家守の紅白の鯉パシヤンと跳ねる

入選

につぼんは偉大な神が万物に うみと君の瞳に
そら・やま・

中山 善嗣

俳句

阿南市俳句連合会選

シヨパン曲流れる中の年忘れ
瀬藤 豊子

めでたしや一陽来復婚の席
工藤千鶴子

里山を彩る景色冬紅葉
清原 栄子

街の灯の白く煙りて冬の景
田中 千香

龍山に億光年の冬銀河
岡本 隆子

小川辺り草に列なし赤とんぼ
河内 順子

寺揺するお経に踊る大根かな
張本 雅宣

七十歳共に歩みて秋豊穰
峰 敏勝

水鳥の散らばりて行く日暮れかな
車田マサ子

接待の蜜柑が二つ秋遍路
横手鉄格子

川柳

阿南川柳会 田上 鶴子選

開けちゃってあつと驚く試着室
西田 修身

美しい妻にあきたと言う夫
多田紀久代
間に合わぬそれがミソだと流れ星
橋本 征介
公方の郷コスモス揺れて詩になる
佐藤つたえ
真ん中で母が上手に編む絆
渡邊 浪漫
Wカップ願いかなえたワンチーム
持木 寿栄

一般応募

立春へ雪深き山白息
鳥尾美津子
独り言いつて治める腹の虫
武田 敏子
連れて来た彼女意外とウマが合う
仁井 信子

漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社選

水仙を詠ず
折野 博子

春首残寒料峭天
春首 残寒 料峭の天
雪中花發小池邊
雪中花発く 小池の辺
黄冠翠袖瓊姿好
黄冠 翠袖 瓊姿好し
搖漾游波水處仙
揺漾 波に遊ぶ 水処の仙

白水山醫王院平等寺
吉形 和恵

賽來梵刹竹風簾
賽し来る梵刹 竹風の簾
湧出靈泉山徑傍
湧き出する靈泉 山径の傍
聞説法師垢離井
聞く説く 法師 垢離の井と
斗升掬得大椿漿
斗升 掬し得たり大椿の漿

※斗升：わずかな量のたとえ ※大椿：長寿を祝う語

偶成
大野シゲ子

追懷村塢石田中
追懐す村塢 石田の中
每勵躬耕半百空
毎に躬耕に励みて 半百空し
鳴鴉相見如俳拙
鳴鴉 相見て拙を諷るが如し
落托餘生問塞翁
落托の余生 塞翁に問わん